

参考資料 2

○他市における新庁舎の方針

【参考例 1 八潮市】

方針 1 市民の利便性が高く、共生、協働の場となる庁舎

- ・市民サービスにおける機能性、効率性の高い庁舎
- ・ユニバーサルデザインに対応し、来庁者が安心して利用できる庁舎
- ・市民が集い、ともに活動できる場としての庁舎

方針 2 まちづくりや災害時の拠点となる安全・安心な庁舎

- ・防災拠点に相応しい庁舎
- ・多機能で、みんなの集いや交流の場となる庁舎
- ・地震、水害などの災害に強い庁舎

方針 3 機能的で働きやすく、環境にやさしい庁舎

- ・効率が良い動線を確保した庁舎
- ・再生可能エネルギーの利用など環境負荷に配慮した庁舎
- ・自然環境を活かし、省エネルギーを実現する庁舎

方針 4 将来の変化に柔軟に対応できる庁舎

- ・効率的・経済的な庁舎
- ・高度情報化や多様なニーズなどに柔軟に対応できる庁舎

方針 5 八潮市らしさが感じられる庁舎

- ・八潮市らしいデザイン性・シンボル性など、魅力のある庁舎

【参考例2 春日部市】

方針1 人に優しい庁舎

- 多くの人が訪れる庁舎は、十分な駐車スペースを確保するとともに、周辺環境を含め、利用しやすい環境を整えます。
- 子供から高齢者まで多くの人が来庁し、様々な手続きを行う施設であることから、ユニバーサルデザインを基本としたわかりやすい窓口表示に配慮するとともに、余裕のある待合スペースを設けます。

方針2 災害に強い庁舎

- 地震や風水害等の災害が発生した場合、災害対策本部となる本庁舎は、災害対策拠点として、市民の生命や財産を守る役割を果たさなければなりません。そのため、本庁舎の建設にあたっては、災害に強い工法を選択するとともに、備蓄品を保管する倉庫や災害対応の資材スペースを設けます。

方針3 環境・経済性に配慮した庁舎

- 市役所の本庁舎は、地球環境に配慮した先導的な施設として、環境に配慮する必要があります。そのため、太陽光、雨水等の活用や庁舎にかかる環境負荷を削減する省エネルギータイプの設備・機器の導入等、エネルギー使用量の抑制を図り、環境にやさしい庁舎とします。
- 経済性を考慮し、空調機器、給排水設備等については、メンテナンスがしやすいものを選定します。

方針4 機能的で効率的な庁舎

- 庁舎内に保有するさまざまな行政情報及び個人情報を保護するため、情報セキュリティに配慮した庁舎とします。
- 事務の効率化を図るため、必要な執務スペースや会議室、書庫等を確保するとともに、機能的な執務環境を整えます。
- 組織機構の変化に柔軟に対応できるよう、空間構成にも配慮します。

方針5 春日部市にふさわしい庁舎

- 市民に親しまれる庁舎となるよう、市民が交流できる空間を拡充するとともに、春日部市の特徴をPRできるようなスペースの確保に努めます。